

会員の近況

坂下美恵子さん 奈良市虚空蔵町に在住

私が45歳の5月2日の時、腹痛があり病院に2～3日「いっぷくするかということで」入院しました。

その時に投薬を受けたのがキノホルム、3日目には舌が青のコケが生えたようになった。便には、青いコケのようなものがいっぱいまざっていた。

そして、足の裏からポチポチしびれが上がり、腹部麻痺をおこし大きなお腹になってガスがたまり、便も出なくなった。

1か月程続き、その後、失明してしまいました。自分がいただくごはんさえ見えず、世の中がまっくろになった。

主治医は「スモンはこんなようになるから」あきらめなさいという返事。

私は、眼科受診を申し入れて、家族に眼科受診できるように頼み、連れて行ってもらった。

眼科の先生「視神経が真っ赤にはれている。」「これは見えないでしょう。」

「視神経の炎症をおさえる薬を出す。」

「入院している病院で受けてくれ。」

10日してから1cmぐらいの明かりが見えてきて、その明かりが何本にもなり、半月ぐらいで大体見えるようになった。

失明した人をたくさん見た・なくなった人もたくさん見た。

そういう状況の中で、スモンの会を立ち上げた発起人の1人、その人達のために、

みんなに呼びかけスモン訴訟を行った。



会員数

スモン患者13人・遺族3人・一般会員2人・役員7人 合計25人(10月1日現在)

会計報告

8月1日 1万円のカンパがありました。(西川紀代氏)

残額 1万5千円 10月1日現在

その他・・・スモン患者は、視力が悪いので字を大きくしています。